

# 彙報

(二〇二一年)

四月二八日 研究室ガイダンス (Zoomによるオンラインで実施)

六月二六日 三重大学日本語学文学会 (講演 亀田夕佳・吉丸雄哉)

七月一〇日 四年生・院生研究発表会

十一月三日 三年生研究発表会

十一月二〇日 修論卒論事前発表会

(二〇二二年)

二月一五日 修士論文・卒業論文口述試験 (対面)

以上、学会と発表会は対面とZoomを組み合わせたハイブリッド形式の開催

三月二五日 学位授与式 (対面)

(二〇二一年度卒業論文題目)

揚木 月子 「萩原朔太郎『死なない蜻』における生と死

池田 球真 「太宰治『親友交歓』論

石原 冴子 『後拾遺和歌集』の贈答歌―女性同士の贈答を中心とする考察―

梅林 紗希 歌物語における菊の折り枝用例について

小畑奈緒子 『枕草子』に描かれる手紙の交流について

川端 詩織 『浮世風呂』における平仮名字体の使用傾向

岸 日菜子 『蜻蛉日記』の物語でにおける心情描写と風景

描写の関わり―「霧」を中心に考える―

中野村日菜子 朝吹真理子『きことわ』論―〈時間〉・「夢」・

「髪」

林 喜行 『落窪物語』における道頼の役割

菱川 有理 『竹取物語』における「月の都の人」について

琵琶 香苗 『落窪物語』論―姫君の特性と三人の母との

関係を中心に―

水谷 祐子 『落窪物語』におけるあこぎの役割―帯刀と

の関係性から―

八木 千晴 『雨月物語』論―廃墟と女性を中心に―